

おうちでつくる 学びの空間

～家庭学習で、子どもの力を伸ばそう～

橋本市教育委員会 平成27年3月発行

「自分の力に自信を持ち、将来への夢をもって生きる子ども」を育てるためには、学校での授業等の取組はもちろんですが、それとともに、家庭で子どもたちの生活習慣や家庭学習習慣を身に付けることがとても大切です。

学校も家庭もそれぞれの役割を十分に理解しながら一緒に子どもたちを育てていきましょう。



橋本市マスコットキャラクター「はしぼう」

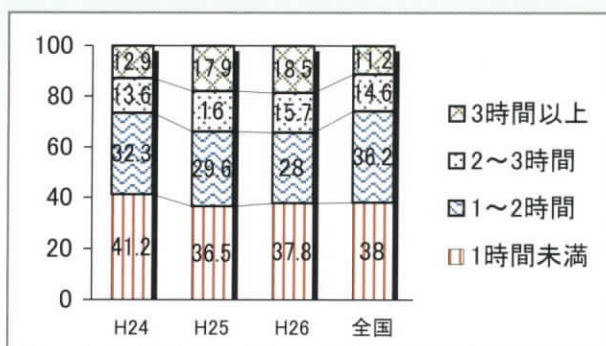
家庭学習って、どうすればいいの？

1 まずは、宿題をきちんとしましょう。

○家庭学習をする場所・時間を決め、集中して勉強しましょう。

学習時間は、小学生については、【学年×10分】をめやすにしてもよいでしょう。勉強が終わったら、自分で片付けて、次の日の準備をしましょう。

家庭学習の時間(小学校6年生)

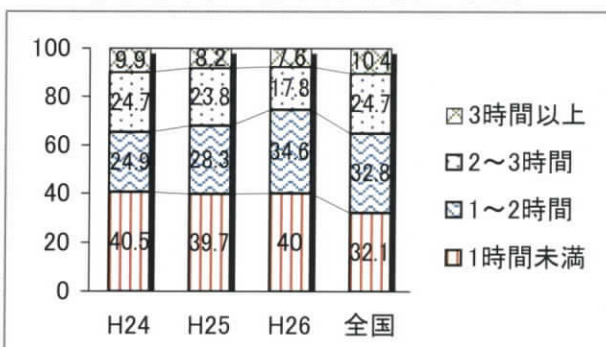


2 学習の計画を立てて取り組みましょう。

○宿題が早く終わったら、次は自分で具体的なめあてを立てましょう。

各学校から出されている「家庭学習の手引き」を参考にするとよいでしょう。授業の予習や復習をすることももちろん学力向上につながります。

家庭学習の時間(中学校3年生)

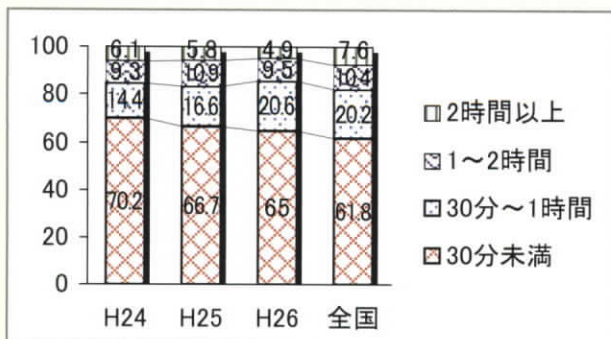


3 “家読”^{うちどく}の時間をつくりましょう。

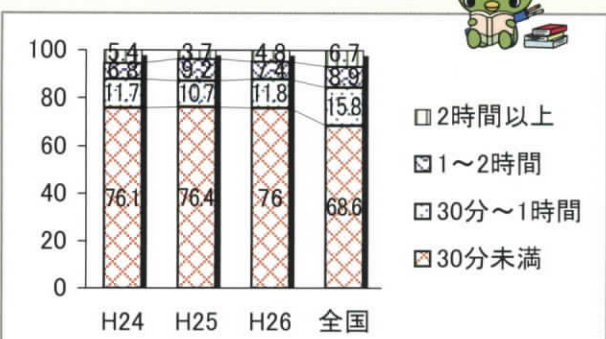
○読書は、読解力・思考力・想像力を身に付け、豊かな心を育みます。

平成23年度に配布したブックリスト「橋本市の子どもたちへ どの本よもうかな」を参考に、読み聞かせをしたり家族一緒に読書の時間を持ったりするのもよいでしょう。

読書の時間(小学校6年生)



読書の時間(中学校3年生)



©橋本市

※グラフに使用しているH24～H26の数値は、橋本市のものです。
また、全国の数値は、H26年のものです。

家庭学習はなぜ必要なの？

お子さんに家庭学習の習慣が身につくと、学習に対する興味・関心が高まり、学習に対する自信もつきます。この積み重ねが、将来の夢を持ち学び続ける態度につながります。そのためにも、保護者の声かけと見届けが大切です。

家庭を学びの場とするために ～家庭での保護者による働きかけ～

1 まずは、生活習慣を整えるよう声をかけましょう。

- 毎日同じくらいの時間に起きる・寝るを心がけましょう。
- 朝ごはんを毎日とりましょう。
- テレビやゲーム、スマホ等の時間を決めましょう。

2 家族・親子のコミュニケーションを大切にしましょう。

- 学校での様子に関心をもち、「今日、学校でどんなこと勉強してきたの？」「宿題できた？」等、お子さんの話をしっかり聞きましょう。目と目を合わせて、やりとりの続く会話を心がけましょう。

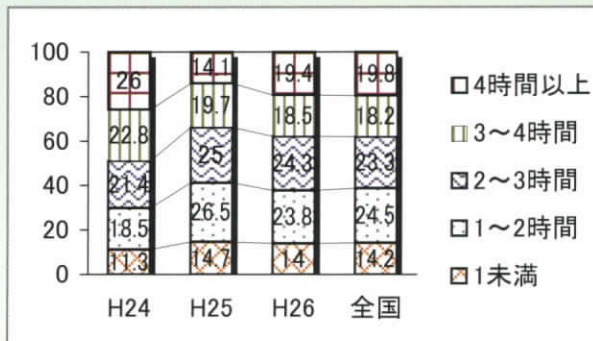
3 努力を認め、ほめるようにしましょう。

- 結果だけでなく、努力した過程を認め、ほめたり励ましたりしましょう。

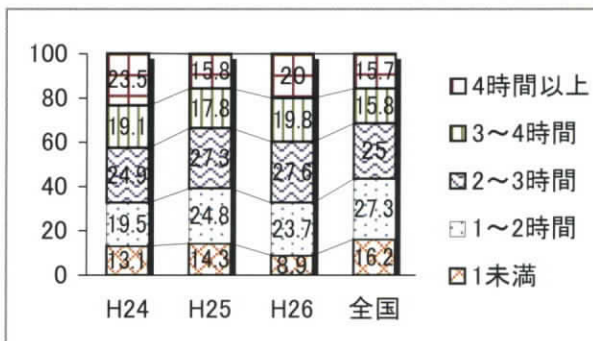
4 勉強しやすい環境をつくりましょう。

- 同じ空間で勉強している時は、テレビを消しましょう。
- 地図帳や国語辞典を身近に置き、ニュースに出てきた地名や難しい言葉を調べてみましょう。分からないままにしない大人の姿が大切です。

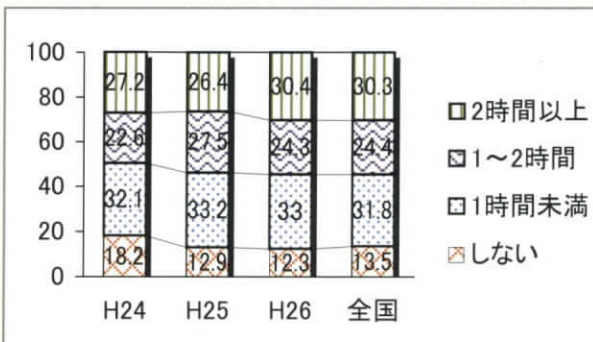
テレビ・ビデオ視聴時間(小学校6年生)



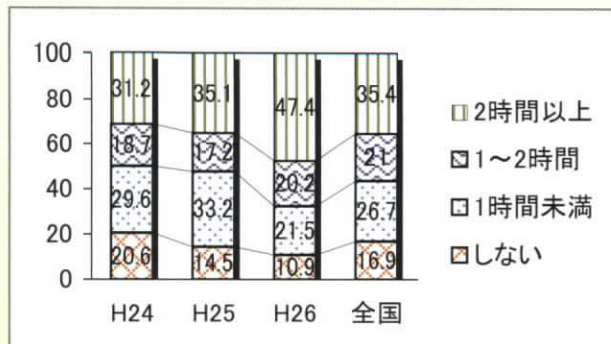
テレビ・ビデオ視聴時間(中学校3年生)



ゲーム・スマホ等の時間(小学校6年生)



ゲーム・スマホ等の時間(中学校3年生)



橋本市マスコットキャラクター「はしぼう」